

- 関係事業者からのヒアリング等による国内外の取組事例について、①データ分析結果のフィードバックまでの期間（ストック型/フロー型）、②データ分析結果のフィードバック対象(系全体/個別)で、便宜的に整理すると次のとおり。
- 今後、ビッグデータの活用については、系横断的なデータの活用への進化、活用のよりリアルタイム化への進展に伴い、社会的課題の解決や経済規模の拡大に貢献していくと考えられる。

## 系横断的なデータの活用への進化

	蓄積したデータの分析結果をフィードバック 【ストック型】	データのリアルタイムな分析結果をフィードバック 【フロー型】
データ分析結果 系全体への フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 減災レポート【ウェザーニューズ】</li> <li>● 図書名寄せ【PFI】</li> <li>● 電子書籍ハイライト情報【Amazon】</li> <li>● 陳列棚配置の最適化【shopperception】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インターナビ【本田技研工業】</li> <li>● Smarter Planet【日本IBM】</li> <li>● ソーシャルマーケティング【PFI】</li> <li>● モバイル空間統計【NTTドコモ】</li> <li>● ロードコントロールシステム【ANA】</li> <li>● 東京ゲートブリッジ【国土省・東京都・NTTデータ】</li> <li>● 犯罪予測システム【サンタクルーズ市【アメリカ】】</li> <li>● Dynamic Discount Solution 【エリクソン・MTN【南アフリカ】】</li> <li>● 電気自動車の最適ルート案内【フォード【アメリカ】】</li> </ul>
データ分析結果 個別への フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ECサイト分析・ウェブアクセス履歴 【PFI, リクルート, 楽天】</li> <li>● ゲリラ雷雨予測【ウェザーニューズ】</li> <li>● 疾病予防管理サービス【徳島大学病院】</li> <li>● 契約者分析による解約防止 【Tモバイル【アメリカ】】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ソラテナ【KDDI・ウェザーニューズ】</li> <li>● トコモワントタイム保険 【NTTドコモ・東京海上日動火災保険】</li> <li>● みかん栽培【早和果樹園・富士通】</li> <li>● 投資情報SNS分析【カブドットコム証券・日本IBM】</li> <li>● 建機の稼働状況の遠隔監視【コマツ】</li> <li>● 新生児集中医療【オンタリオ工科大学【カナダ】】</li> <li>● クレジットカードの不正検知【VISA【アメリカ】】</li> </ul>

活用のよりリアルタイム化の進展

(注) 「フロー型」における「リアルタイム」の範囲については、業種・業態、データの活用目的により異なるものであるため、実際は、「フロー型」と「ストック型」の2つに明確に分類されるわけではない。

# ビッグデータの活用による発見効果

- ビッグデータの活用に関する市場規模等の計測手法については、国際的に確立されていない状況であるが、諸外国に関する民間調査機関による試算等を前提とした場合の日本における効果として、データの利用事業者及びその支援事業者からなるビッグデータの活用に関する市場においては、今後、少なくとも10兆円規模の付加価値創出及び12~15兆円規模の社会的コスト削減の効果があると考えられる。



【出典：(株)野村総合研究所説明資料(第6回)より作成】